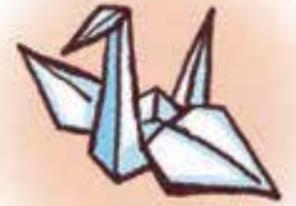


「戦争の世紀」から「人権の世紀」へ



平和な世界をめざして

今年は「世界人権宣言」が採択されて70周年です。

「世界人権宣言」は、基本的人権の尊重の原則を明記し、

初めて国際的な人権保障の目標や基準を定めました。

しかし、この画期的な宣言が採択されて70年を迎え

る今も、さまざまな紛争や内戦が起こっています。

核やテロの脅威、貧困などによって今も安心して暮ら

せない人々がたくさんいます。

人権とは、すべての人々が生まれながらにもっている、

人間が人間らしく生きていく権利です。

世界各地で今も続く戦争は、人権も平和も私たちが常

に意識し、考え、守っていかなければ、あっという間に

失われてしまうものだと教えています。

日本では、実際に戦争を体験した人が少なくなってきた

ています。

戦争を過去のものとせず、そこから人権について学び、

私たちに何ができるのか、何をすべきかを考えていく

ことが大切ではないでしょうか。

